

東日本大震災に関連した女性に対する暴力に関する取組について

1 阪神淡路大震災（平成7年1月17日発生）前後の性犯罪状況

		平成6年	平成7年	増減率
強 姦	全 国	1,616	1,500	-7.2%
	兵 庫	57	57	0.0%
強制わいせつ	全 国	3,580	3,644	1.8%
	兵 庫	107	100	-6.5%

※ 3月11日から4月26日現在まで、岩手、宮城及び福島の3県において、強姦及び強制わいせつの認知件数は、前年同期よりも大幅に減少している。

また、被災した避難所等に避難している女性を被害者とした強姦及び強制わいせつの発生は把握されていない。

2 警察における取組（4月26日現在）

○ 避難所における防犯対策、相談への対応

～特別派遣部隊の状況

	岩手県	宮城県	福島県	合計人員
4/18～	20	75	20	115
4/27～	20	50	20	90

○ 防犯、犯罪取締への対応

～特別機動捜査派遣部隊・地域警察特別派遣部隊の状況

	岩手県	宮城県	福島県	合計人員
機動捜査	20	32	24	76
地域警察	108	204	127	439
合計人員	128	236	151	515

○ 3県の主な活動

- ・ 被災者支援班を編成し避難所を巡回
- ・ 被災地区重点夜間パトロールの実施
- ・ 「移動交番」における相談の受理 等

※ 3県において、警備業協会による自主防犯パトロールを実施